



2023年5月2日 中京大学講義

愛知県の産業振興

愛知県経済産業局産業部
産業政策課

INDEX

「現在」を知る

- 数字でわかる 愛知の産業と経済

「過去」を学ぶ

- 歴史で知る モノづくり王国・愛知の源流

「未来」を考える

- 2040年頃の社会経済の展望
- 本県産業のめざすべき姿
- 本県の主な経済政策の紹介

「現在」を知る

数字でわかる
愛知の産業と経済

「モノづくり王国」愛知の製造品出荷額等は全国1位。何年連続でしょうか。

- (1) 12 年連続
- (2) 25 年連続
- (3) 44 年連続



製造品出荷額等：1年間における製造品の出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程からでたくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額

44年連続日本一

都府県名	製造品出荷額等(2020年)
愛知県	43.9兆円(1位)
大阪府	16.9兆円(2位)
静岡県	16.4兆円(3位)
神奈川県	15.8兆円(4位)
東京都	7.0兆円(15位)

出典:令和3年経済センサス-活動調査

愛知県の製造品出荷額等は、2位大阪府の約2.6倍
1977年から44年連続日本一

愛知県がシェア全国一の産業はどれでしょうか？（複数あります）

輸送機械



電気機械



鉄鋼



ゴム製品



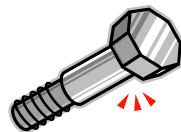
プラスチック



業務用機械



金属製品



生産用機械



窯業・土石



繊維



10業種（全て） 全国1位

全国シェアNo.1

令和3年経済センサス-活動調査

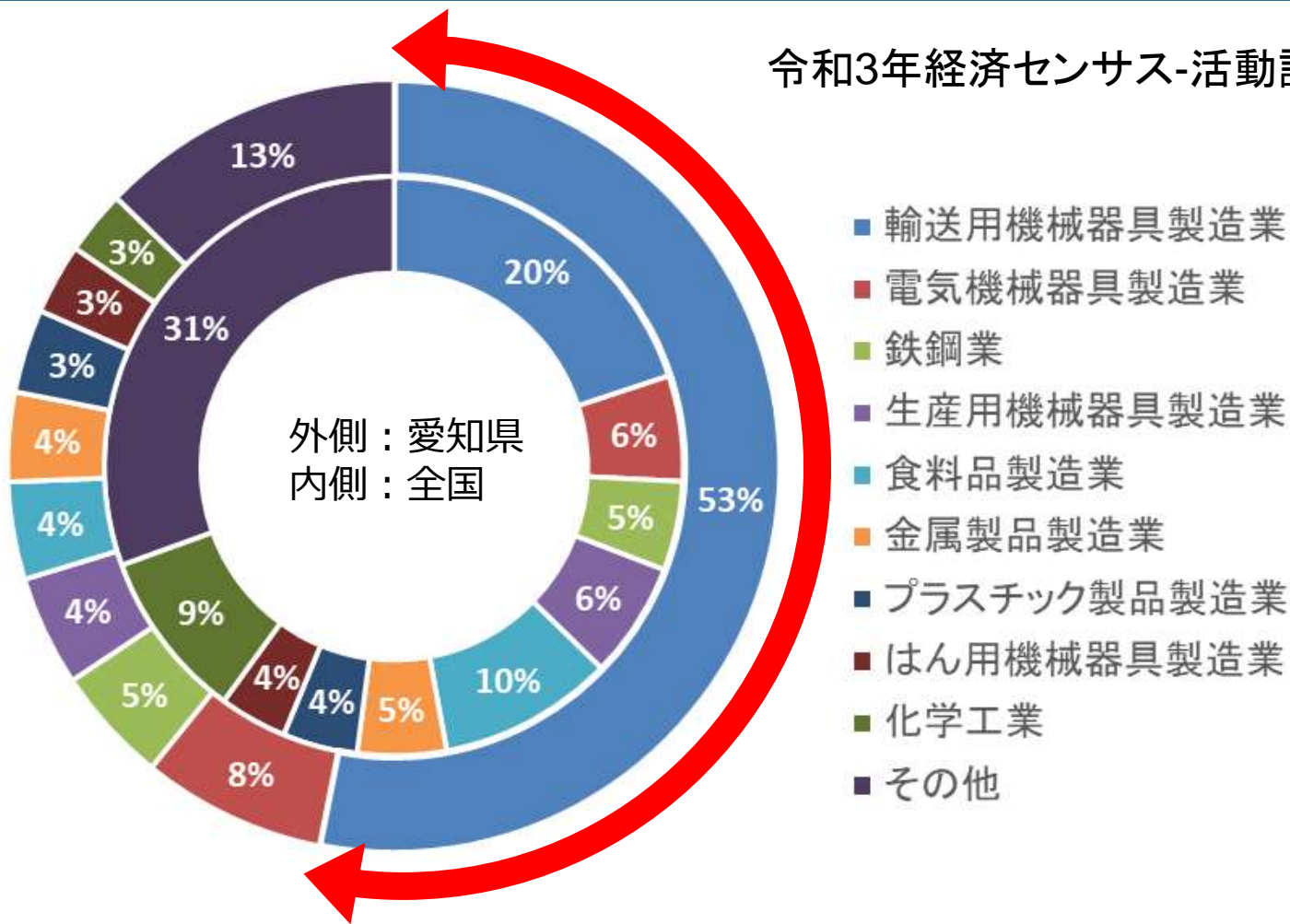
輸送機械	電気機械	鉄鋼	ゴム製品	プラスチック
38.8% 23兆3,624億円	19.0% 3兆3,857億円	14.2% 2兆1,418億円	13.8% 4,110億円	12.2% 1兆5,369億円
業務用機械	金属製品	生産用機械	窯業・土石	繊維
11.3% 7,239億円	10.9% 1兆6,436億円	10.4% 2兆303億円	9.7% 7,328億円	9.4% 3,229億円

製造業の産業分類（中分類） **24**業種中**10**業種でシェア**1**位

しかし

輸送機器（自動車）に依存した構造 多様な産業の育成が重要

令和3年経済センサス-活動調査



製造品出荷額の過半53%が輸送用機械器具製造業

2022年、我が国は約20兆円の貿易赤字
名古屋税関管内の貿易収支はどうだったでしょうか。

- (1) 2.3兆円の赤字
- (2) 4.6兆円の黒字
- (3) 7.8兆円の黒字



7.8兆円の黒字

(単位:百万円)

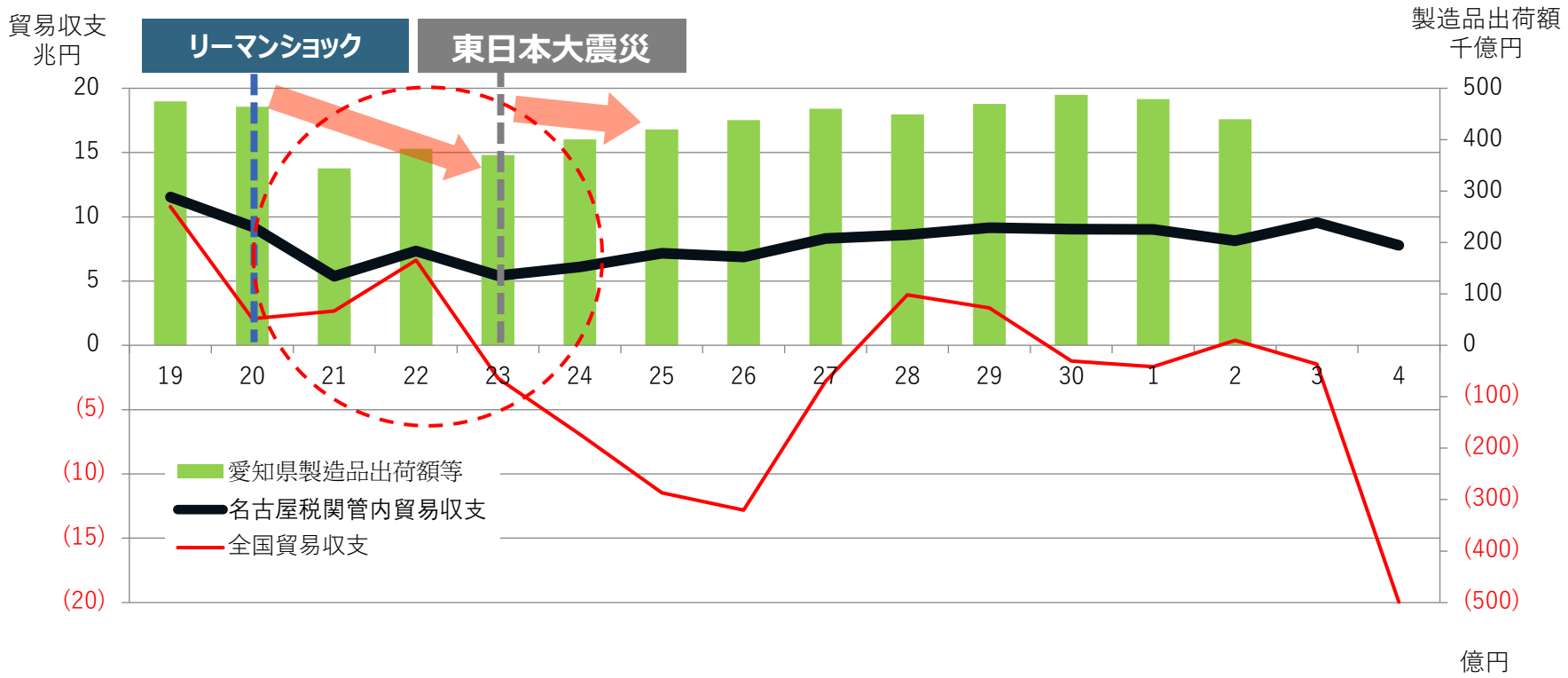
	税関名	貿易収支
1	名古屋	7,779,171
2	門司	1,410,710
3	神戸	▲218,047
4	沖縄地区	▲230,655
5	大阪	▲1,153,925
6	函館	▲2,004,568
7	長崎	▲2,596,145
8	横浜	▲9,566,945
9	東京	▲13,385,581
	全国合計	▲19,965,985

出典:名古屋税関 令和4年分管内貿易概況(確々報)

貿易収支がこれまで最大だった2014年の△13兆円の時も当地域は**約7兆円の黒字**



貿易収支は安定しているが、企業収益は為替の影響が他地域より大きい。



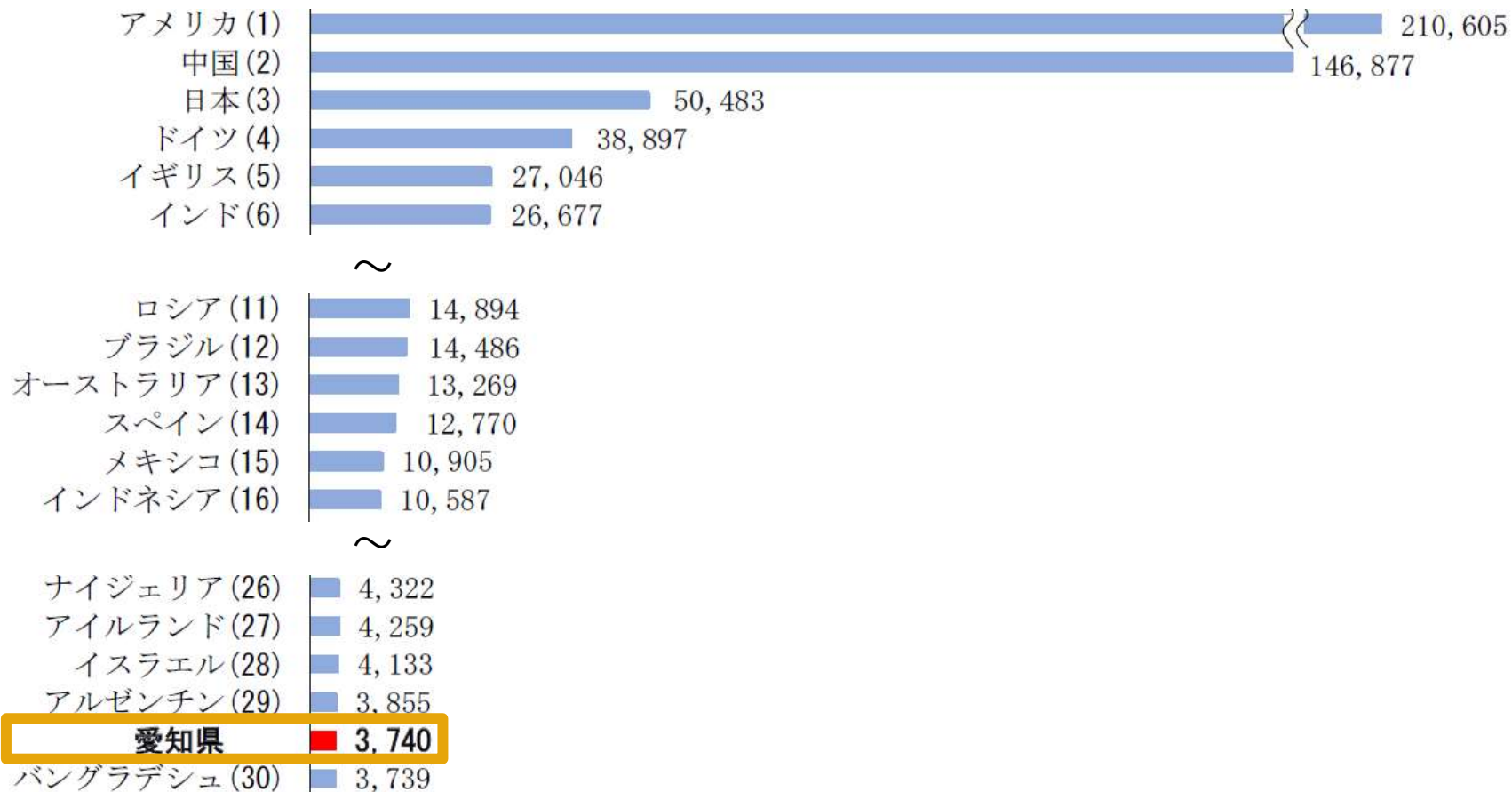
県内A社の年度別為替影響額	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	R2	R3
	-7,600	-3,200	-2,900	-2,500	1,500	9,000	2,800	1,600	-9,400	2,650	-500	-3,050	-2,550	6,100

愛知県の県内総生産は、世界の国と比べると何位相当でしょうか。

- (1) バングラデシュを上回る **30**位
- (2) ナイジェリアを上回る **26**位
- (3) ロシアを上回る **11**位

世界第30位 (相当)

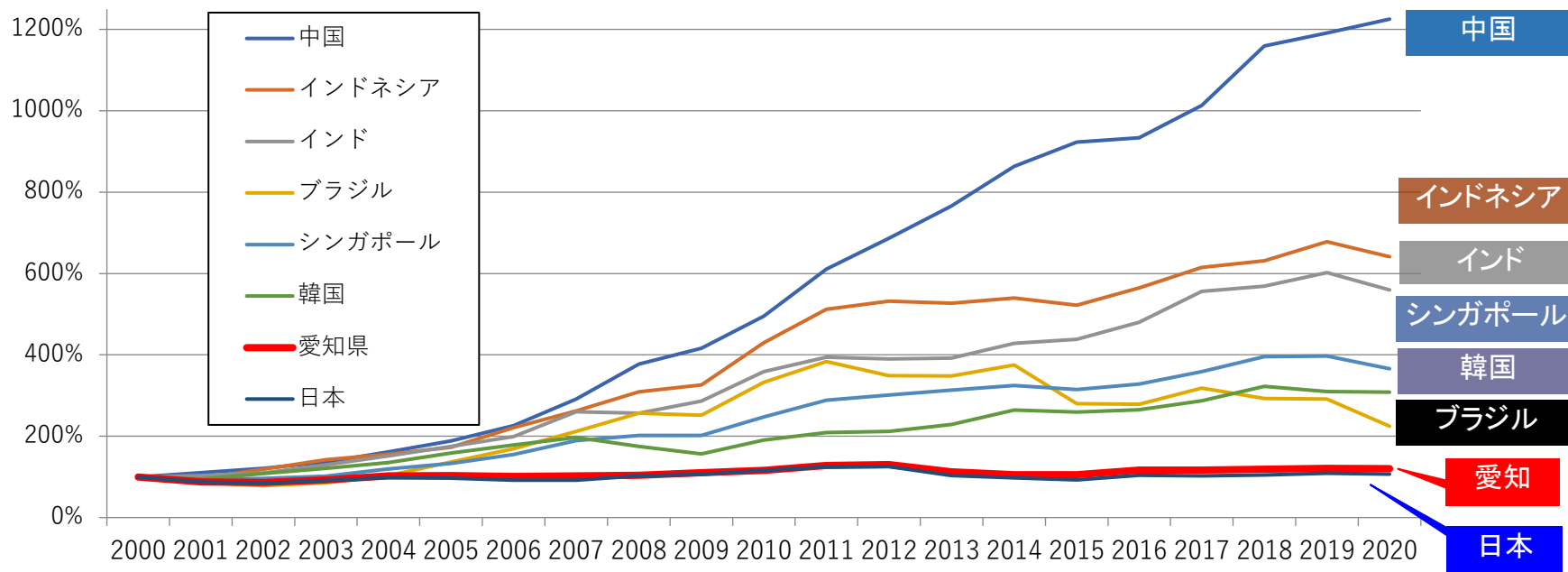
国内総生産及び県内総生産の国際比較





2000年には16位、その後ほとんど成長しておらず、新興国の成長に追いつけていない。

各国GDPの推移（2000年を100として指数化）



愛知県の県民総生産の世界順位相当推移

2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
16位	18位	18位	21位	21位	22位	26位	26位	29位	26位	28位	28位	27位	33位	35位	32位	30位	31位	32位	34位	30位

愛知県の企業で海外に進出している
企業数はいくつ。

(1) **1 7 1**社

(2) **4 5 1**社

(3) **9 6 1**社



961社(4,292拠点)

県内企業の海外進出状況

順位	進出国・地域名	企業数	拠点数
1	中国	586社	1,128拠点
2	タイ	345社	484拠点
3	アメリカ	259社	515拠点
4	インドネシア	194社	253拠点
5	ベトナム	163社	202拠点
6	台湾	101社	121拠点
	その他	1,220社	1,589拠点
	合計	延べ2,868社	4,292拠点

愛知県企業の進出(2021年12月末) ※(公財)あいち産業振興機構調べ

県内企業の海外進出はアジアが中心 **延べ1,927社(2,861拠点)** に進出

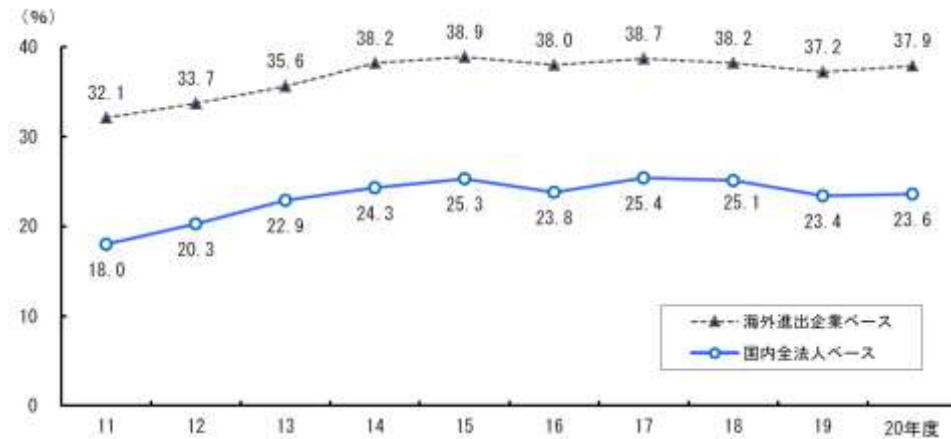


企業が海外に進出することは、国内では産業空洞化の危機も

海外現地生産比率の推移（全国）

企業は海外で生産能力を増強する傾向

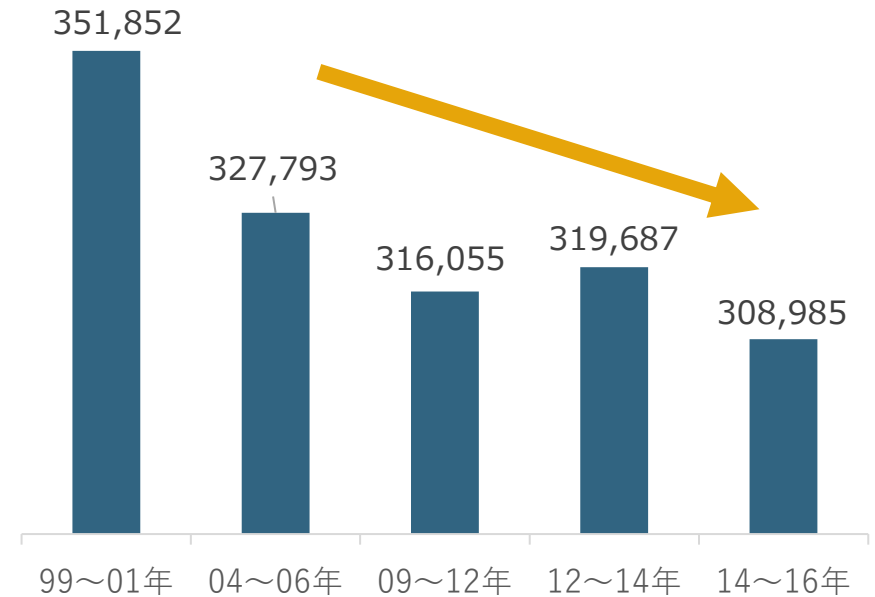
海外生産比率の推移（製造業）



出典：経済産業省 第51回 海外事業活動基本調査（2020年度実績）

事業所数推移（愛知県）

愛知県内の事業所数は減少傾向に



出典：総務省・経済産業省「事業所・企業統計調査」「経済センサス」を基に県経済産業局作成

県内の全企業数のうち、中小企業の比率は何%でしょうか。

(1) **99.7%**

(2) **82.4%**

(3) **70.8%**



※中小企業の定義は、中小企業基本法による。

99.7%

愛知県内企業数・従業者数

	企業数		従業者数	
総数	208,948	100.0%	3,139,555	100.0%
中小企業	208,310	99.7%	2,221,795	70.8%
小規模企業	172,235	82.4%	622,998	19.8%

2016年数値
出典：中小企業白書2022

愛知県内の企業数の**99.7%**、従業者数も**70.8%**は中小・小規模企業。
中小・小規模企業は本県の経済と雇用を支えている。



中小企業は、我が国の産業と雇用を支えているが、就職の希望は少ない。

従業員規模別求人総数および就職希望者

従業員規模		2021年 3月卒	2022年 3月卒	2023年 3月卒
300人未満	求人数	382,300	381,400	383,200
	就職希望数	112,400	72,300	72,200
300-999人	求人数	131,000	123,100	139,000
	就職希望数	151,600	125,500	124,100
1,000- 4,999人	求人数	126,100	127,000	137,200
	就職希望数	110,700	142,900	123,200
5,000人以上	求人数	43,600	44,900	47,500
	就職希望数	72,400	109,300	129,100

出典：リクルートワークス大卒求人倍率調査
(2022.4.26発表資料)

県内企業の付加価値額のうち、中小企業の比率は何%でしょうか。

(1) **88.5%**

(2) **51.5%**

(3) **30.6%**

※民営、非一次産業、企業ベースでの付加価値額。

51.5%

愛知県内企業の規模別付加価値額（民営、非一次産業）

（単位：億円）

	愛知県		（参考）東京		（参考）全国	
総数	185,888	100.0%	1,016,671	100.0%	2,556,442	100.0%
中小企業	95,661	51.5%	310,983	30.6%	1,351,106	52.9%
小規模企業	22,899	12.3%	61,949	6.1%	357,443	14.0%

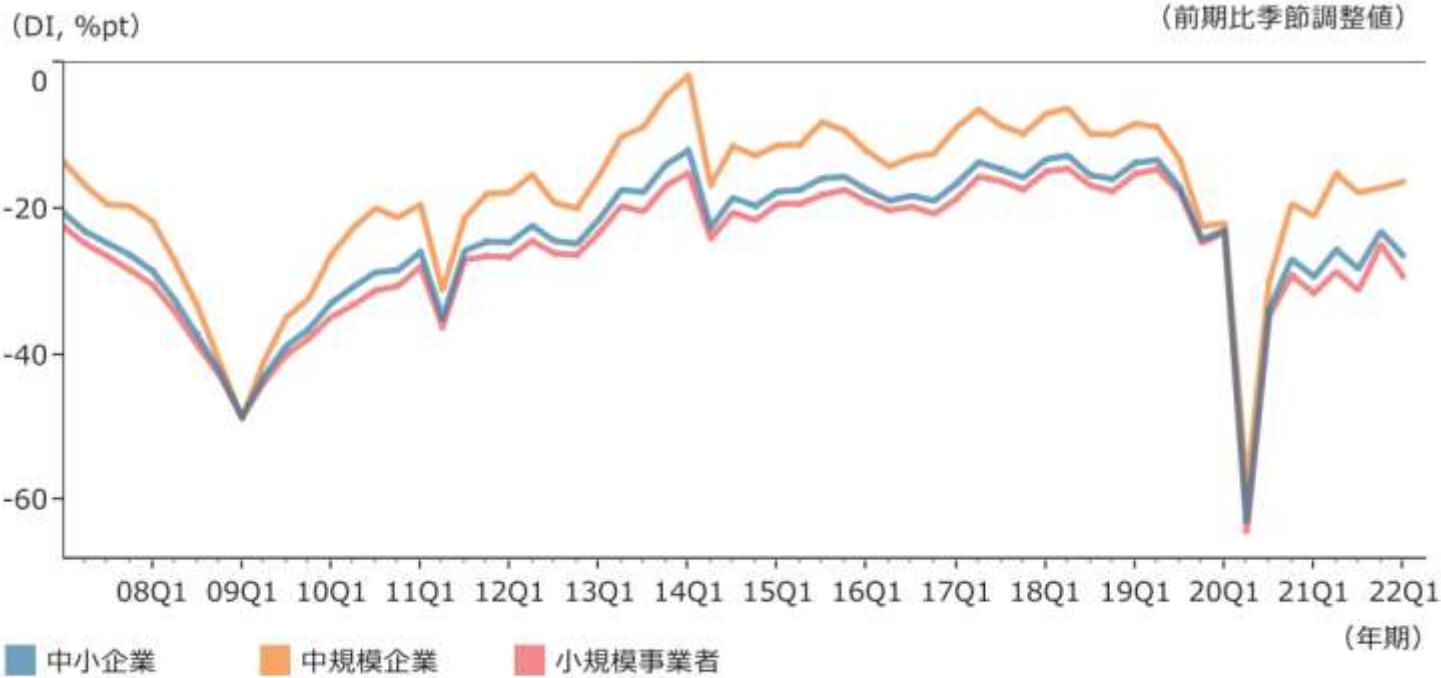
2015年数値
出典：中小企業白書2022

付加価値額で見ると、中小企業の割合は**51.5%**。
企業の生産活動からみても、中小企業が本県経済を支えていることがわかる。



中小企業の業況は、感染症拡大を受けて急速に悪化し、いまだ厳しい状況にある。

企業規模別業況判断DIの推移



資料：中小企業庁・（独）中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」

(注) 1.景況調査の業況判断DIは、前期に比べて、業況が「好転」と答えた企業の割合(%)から、「悪化」と答えた企業の割合(%)を引いたもの。

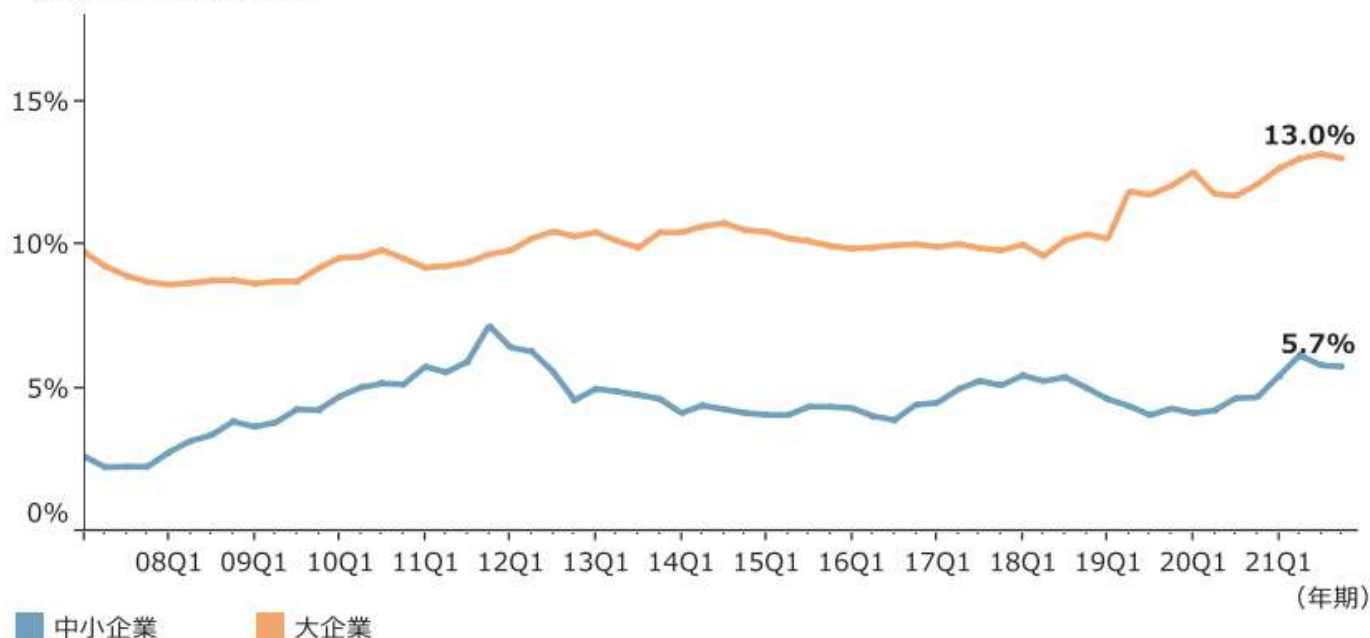
2.ここでは、中小企業とは中小企業基本法第2条第1項の規定に基づく「中小企業者」、小規模事業者とは中小企業基本法第2条第5項の規定に基づく「小規模企業者」、中規模企業とは中小企業から小規模事業者を除いた企業をいう。

さらに

中小企業は、IT分野への投資比率が大企業と比べて低い傾向にある。

企業規模別に見た、ソフトウェア投資比率の推移

(後方4四半期移動平均)



資料：財務省「法人企業統計調査季報」

(注) 1.ここでいう大企業とは資本金10億円以上の企業、中小企業とは資本金1千万円以上1億円未満の企業とする。

2.金融業、保険業は含まれていない。

3.ソフトウェア投資比率は、ソフトウェア投資額を設備投資額で除し、100を乗じて算出している。

ここまでのまとめ

- 製造品出荷額等は**44年連続**一位（2020年）
- 製造業**10業種**で全国シェア1位
- 名古屋税関の貿易収支は**7.8兆円の黒字**（2022年）
 - **輸送機器に依存した構造**のため、多様な産業の育成が重要
 - 企業収益は為替影響額が大きい。
- 県内総生産は世界第30位相当（2020年）
 - 2000年以降、**新興国の成長に追い付いていない。**
- 県内企業の**99.7%**が中小企業
- 従業員数**70.8%**、付加価値額**51.5%**と本県経済を支える存在
 - 中小企業は、新型コロナの影響等で**業況が急速に悪化。**
 - **IT分野への投資も十分でない。**

「過去」を学ぶ

歴史で知る
モノづくり王国・愛知の源流

あいちのモノづくりの源流



豊富で**良質な水**による発酵文化、水運による物流

水運により、醸造品や瓦、石工品が全国に流通



河川の水運により**良質な木材**が豊富に流通

秀吉による木曾材の活用、尾張藩による領有と保護



陶磁器や鋳物の**製造に適した土・砂**が県内で多く産出

千年以上の歴史を有する世界有数の陶磁器産地



三河木綿、知多木綿などの**優れた繊維**

幕府の綿織物の振興策により、木綿栽培が拡大

良質な水・木や土、繊維、など、モノづくりに必要な材料・技術が集積

古くから交通の要衝であった当地域は、**東西の文化が交流**し高度なモノづくり文化を芽生えさせた。また、度重なる戦乱や織田信長が**全国から集めた技能者**に「天下一」を競わせたことも、優れたモノづくり文化がこの地域に根付くきっかけにもなった。

豊富で良質な**「水」**は**水運や食品産業**に貢献し、明治以降は**電力供給**にも活用、良質な**「木材」**は当初は燃料として、その後、**加工産業の基礎**に、良質な**「土」**は**窯業・鋳物**に、木綿をはじめとした**「糸」**は**織物技術**の集積に貢献。

江戸期まで



モノづくりの源流となる素材をそのまま使った産業が栄える

発酵食品

良質な水を活用した発酵食品（味噌・醤油・酢）が発展
焼き物の甕に入れられて、水運を活用し全国に展開

からくり 木造建築

木材を用いた**からくり**や**山車**、**漆器**などの加工が盛んに
木曽材を用いて、名古屋城などの**優れた木造建築**が建立

陶器 磁器

平安期より良質な土を用いた**陶器生産**が盛んに
江戸後期には**磁器の生産**も開始、両方生産する地域は希少

糸・織物 染物

木綿栽培の発達により**綿糸の生産**が盛んに
織物、**染物**も発展し、のちの繊維産業の基盤に

明治期～太平洋戦争まで



海外からの繊維機械の輸入、豊田佐吉翁等の発明や改良により機械の高度化・省力化

➤ 近代的な工場設立

繊維産業
||
基幹産業

産地の確立

尾西地方 →毛織物

半田・西尾・蒲郡 →綿スフ織物

岡崎・安城 →綿・羊毛紡績

東三河

→生糸

木工業
の技術



繊維機械
の発展

自動車産業、工作機械産業が発展

軍事需要
の増加

航空機産業、重機械産業が発展

戦後から高度成長期まで



傾斜生産 朝鮮特需

傾斜生産方式による**製鉄、重機械工業分野**の復興
朝鮮特需による幅広い分野の復興

繊維産業

繊維産業は主力産業として1960年代まで成長

自動車 産業

マイカーブームや海外進出で**自動車産業が成長**
並行する形で、工作機械等、**幅広い製造業が発展**

モノづくり産業の変遷と成長

1880年代後

612万円

織物	30%
製糸工業	38%
陶磁漆器・七宝	21%
有松絞	8%
扇子	3%

1940年

20億円

紡織工業	31%
機械器具	30%
化学	7%
食料品	7%
金属工業	7%

1960年

1兆3,878億円

繊維工業	30%
輸送用機器	15%
食料品	9%
機械	8%
化学	7%

1980年

20兆5,983億円

輸送用機器	31%
鉄鋼	10%
一般機械器具	9%
食料品	7%
電気械器具	6%

2000年

34兆3,361億円

輸送用機器	45%
一般機械器具	10%
電気機械	9%
鉄鋼	5%
プラスチック	4%

2020年

43兆9,789億円

輸送用機器	53%
電気機械	8%
鉄鋼	5%
生産用機械	4%
食料品	4%

世界に誇る企業家・発明家

愛知・岐阜・三重・静岡 出身者・関係者

岐阜県



白川英樹

誘電性高分子発明



豊田佐吉

トヨタG創業



豊田喜一郎

トヨタ自動車創業



吉野彰

Li-ion電池発明



西美緒

Li-ion電池実用

静岡県



鈴木道夫

SUZUKI創業



山葉寅楠

YAMAHA創業



天野浩

青色LED発明



赤崎勇

青色LED発明



福沢桃助

大同特殊鋼、日清紡、関電、中電、東邦ガス、名鉄、東亜合成等創業

三重県



丹羽保次郎

FAX発明



盛田昭夫

SONY創業



井深大

SONY創業



本多光太郎

KS鋼発明



橋本増治郎

ダット自動車創業
(現NISSAN)



本田宗一郎

HONDA創業



嶋正利

マイクロプロセッサ
発明者



御木本幸吉

ミキモト創業者



山崎定吉

Mazak創業



中野又左衛門

mizkan創業



大隈榮一

オークマ創業



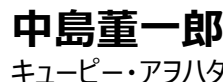
蟹江一太郎

KAGOME創業



安井正義

brother創業



中島董一郎

キューピー・アヲハタ創業



森村市左衛門

森村G*創業

森村G : Noritake, TOTO, NGK, NTK, INAX (元)

愛知県産業偉人展示施設

- STATION Aiに集う**スタートアップに勇気や励み**を与えるとともに、施設の賑わいや彩りを創出し、施設を見学等で訪れる**子どもたちに、将来の起業家としての夢を育んでもらう**ことを目的として、2024年10月にオープンを予定しているSTATION Aiに、**本県にゆかりのある革新的な事業**を興した創業者・経営者54名の業績等を伝える施設を整備

展示施設デザインイメージ



「未来」を考える

- 2040年頃の社会経済の展望
- 本県産業のめざすべき姿
- 本県の主な経済政策の紹介

2040年頃の社会経済の展望

2040年頃の展望

1. 感染症・災害・犯罪リスクの増大
2. 人口減少の進行、人生100年時代の到来
3. 暮らし・労働・学びの多様化
4. 共助社会の必要性の増大
5. 世界経済の多極化、経済重心のアジアへのシフト
6. 世界的な人材獲得競争の激化
7. 第4次産業革命の進展
8. スーパー・メガリージョンの形成
9. 都市のスポンジ化、高齢インフラの増加
10. 脱炭素化の進展、循環型社会への移行



めざすべき愛知の姿

1. 危機に強い愛知
2. すべての人が生涯輝き、活躍できる愛知
3. イノベーションを創出する愛知
4. 世界から選ばれる魅力的な愛知

出典：あいちビジョン2030

愛知県の経済・労働政策の全体像

目指すべき姿に向けた施策展開

基盤

柱1

次世代産業の振興・
イノベーションの創出

柱2

地域産業の活性化

柱3

観光・交流を通じた
地域の魅力・ブランド力の向上

柱4

グローバルな
産業拠点機能の向上

柱5

誰もが安心して生き生きと
活躍できる環境づくり

柱6

愛知の産業を担う
人財力の強化

中小・小規模企業の
持続的発展

2030年から2040年に向けて 目指すべき姿

イノベーションが次々と
生み出されるとともに、
持続可能な社会を支える
産業が展開する地域

人や企業を呼び込み、
世界的な交流・連携の
拠点となる存在感のある
地域

誰もが自らの能力を
高め・発揮し、安心して
生きがいや働きがいをも
って活躍できる地域

出典：あいち経済労働ビジョン2021-2025

本日は経済政策を中心に説明しますが、愛知県の中期計画である「あいち経済労働ビジョン2021-2025」では、労働・観光分野を含め計画を策定しています。

▶詳しくは

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sangyo-seisaku/keirou-vision2025.html>

本県産業のめざすべき姿

危機を乗り越え、世界に輝く国際イノベーション都市へ

魅力と刺激のあるまちづくり

グローバル化への対応

愛知型
成長モデル

デジタル化への対応

モノづくり産業の集積拡充

圧倒的な産業集積

誰もが生き生きと
活躍できる職場環境

高度な人財力

本県の現状

県内経済を安定的な成長軌道に戻し、本県産業の持続的発展を図る

- ・ プレミアム商品券発行事業への支援
- ・ 観光関連事業者に対する支援 など

- ・ 新サービス・新商品開発、販路拡大等に対する支援
- ・ デジタル化による業務プロセスの改善・構築の支援
- ・ テレワークの導入支援 など

- ・ 休業要請により影響を受けた事業者への協力金・応援金
- ・ 県融資制度による資金繰り支援 など

反転攻勢に
向けた
需要喚起

強靱な
経済構造の
構築

緊急支援

- 柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出
 - 柱2 地域産業の活性化
 - 柱3 観光・交流を通じた地域の魅力・ブランド力の向上
 - 柱4 グローバルな産業拠点機能の向上
 - 柱5 誰もが安心して生き生きと活躍できる環境づくり
 - 柱6 愛知の産業を担う人財力の強化
- 基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

円安、原油・原材料
価格高騰対策

- ・ 県融資制度による資金繰り支援
- ・ 貨物自動車運送・窯業・繊維事業者への支援金
- ・ プレミアム商品券発行事業への支援 など

新型コロナウイルス感染症による社会経済への影響

柱1 次世代産業の振興・イノベーションの創出

- 愛知県の強みであるモノづくりとデジタル技術を組み合わせた革新的技術の社会実装の推進
- オープンイノベーションを基本コンセプトとした愛知県独自のスタートアップ・エコシステムの形成・充実

次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進

- 自動運転の実用化に向け、ビジネスモデルの構築を目指した**実証実験を実施**
- 自動車サプライヤーを支援するため新事業展開や販路拡大に関する取組を実施

航空宇宙産業の振興

- **販路拡大、人材育成等の支援**や他産業からの**受注獲得支援、競争力強化の支援**

ロボット産業の振興

- **ドローンや介護・リハビリ支援ロボットの活用、サービスロボットの社会実装を促進**

革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備

- 2030年に導入が見込まれる近未来の事業・サービスを2025年度を目途に実装することを目指す**あいちデジタルアイランドプロジェクトの推進**

スタートアップ・エコシステムの形成促進

- 「Aichi-Startup戦略」に基づいたスタートアップの創出・育成・展開・誘致を図るための拠点施設**「STATION Ai」の整備**
- 民間提案を起点として、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出を目指す「革新事業創造戦略」の推進

次世代自動車産業の振興、新たなモビリティサービスの普及促進

- 自動運転の実用化に向け、ビジネスモデルの構築を目指した**実証実験を実施**

2022年度取組内容

- 磁気マーカシステムを活用した中部国際空港連絡道路での走行(一般の自動車専用道路では全国初)など安心・安全で利便性の高い運行の検証(常滑市)
- 歩車混在環境におけるAI画像解析技術を活用した歩行者に対する音声での注意喚起など園内バスルートでの安心・安全な移動の検証(長久手市)
- 移動時間に付加価値を与える車室空間(動く会議室)の検証やアプリを用いた事前予約によるオンデマンド運行など、イノベーション創出に向けた自動運転の活用(名古屋市)



窓ガラスを活用したディスプレイ (名古屋市)



大型バス車両 (常滑市・長久手市)



小型バス車両 (常滑市)

航空宇宙産業の振興

- 県が中心となって構成する「あいち・なごやエアロスペースコンソーシアム」において、**販路拡大、人材育成等の支援**を実施するとともに、航空機需要低迷対策として、経営基盤強化のための他産業からの**受注獲得支援、競争力強化支援**を実施

2022年度取組内容

- エアロマートツールズ2022等の展示会・商談会への出展支援
- 航空宇宙産業の各階層に焦点を当てた人材育成講座の実施
- 認証取得・維持のための専門家派遣の実施
- 経営改善に関する専門家の無償派遣による競争力強化支援

あいち・なごやエアロ スペースコンソーシアム

設立：2018年8月24日

目的：当県における航空宇宙産業の継続的な発展のため、地域が一体となって推進するための事業を実施すること

構成：県、名古屋市、中部航空宇宙産業技術センター、あいち産業振興機構 等



エアロマートツールズ2022



設計演習講座

ロボット産業の振興

- 「あいちロボット産業クラスター推進協議会」を核として、次世代産業の大きな柱として育てるため、**ドローンや介護・リハビリ支援ロボットの活用、サービスロボットの社会実装を促進**

2022年度取組内容

- ワーキンググループを通じた情報提供や、「あいちサービスロボット実用化支援センター」における開発企業に対する相談対応や施設等とのマッチング支援
- 介護・リハビリ支援ロボットの開発側・利用側双方への助言・マッチング支援
- ドローンの新たなユースケース創出を目指した実用化レベルでの実証実験
- 県内の商業施設等での、現場用途に即したサービスロボットの
実証実験

あいちロボット産業 クラスター推進協議会

設立：2014年11月18日

目的：産学行政が連携して、ロボットの研究開発や生産の拠点を形成し、新技術・新製品を創出していくことにより、世界に誇れるロボット産業拠点を形成すること

委員：県、行政機関、経済団体、ロボットメーカー、有識者 等



高積載ドローンを活用した救援物資輸送の実証実験



豊田スタジアムでのサイネージロボットの实証実験

革新的技術の社会実装の推進に向けた環境整備

- 中部国際空港及び周辺地域（以下「当該エリア」）において、2030年に導入が見込まれる近未来の事業・サービスを2025年度を目途に実装することを目指す
あいちデジタルアイランドプロジェクトの推進

2022年度取組内容

- 5G等デジタル技術を活用した国際コミュニケーションの実証実験
- 通信により自分の分身のように動かすことができるアバターロボットを活用した実証実験
- 当該エリアにおける人流・属性データの利活用に向けた調査
- 5G等デジタル技術導入に向けたビジネスマッチングコーディネートの実施・ワンストップ窓口の設置

【具体的な実証実験例】

- 空中に映像を浮かび上がらせるホログラムやメタバースを活用した国際通信
 - アバターロボットを活用した次世代の展示会参加・社会見学・ショッピング
- ※ 5G環境下における展示会への複数台のアバターロボット参加は日本初



国際コミュニケーション 実証実験イメージ



アバターロボット 実証実験イメージ

スタートアップ・エコシステムの形成促進

- 2018年、国に先駆けてスタートアップ・エコシステム形成に向けた「Aichi-Startup戦略」を策定（毎年度改定）
- 日本最大のスタートアップ中核支援拠点「**STATION Ai**」を、**ソフトバンク(株)**とともに**整備・運営**
- 愛知県の海外先進的スタートアップ支援機関・大学との連携と、ソフトバンク(株)の世界的なネットワークを融合
世界有数のスタートアップ・グローバルコミュニティを形成

「STATION Ai」(2024年10月開設)

◆ビジョン

『すべての人にスタートアップのワクワクを』

◆施設・事業概要

- ・ 事業者 STATION Ai株式会社
- ・ 設置場所 名古屋市昭和区鶴舞
- ・ 延床面積 約23,000㎡（7階）〔日本最大〕
- ・ 利用者数 1,000社〔日本最大〕



STATION Ai

◆機能構成

メイン	・スタートアップ、パートナー企業、海外スタートアップ支援機関向けオフィス
サブ	・宿泊施設/フィットネスジム
	・テック・ラボ/産業偉人展示施設 ・託児施設/カフェ・レストラン

海外の先進スタートアップ・エコシステムとの連携

愛知県が連携・連携を目指すスタートアップ支援機関・大学

STATION F
INSEAD
パリ市
Paris & Co
IMT
Atlantique
Bpifrance
AuRA地域圏

清华大学
(TUSホールディングス)
上海交通大学
浙江大学

テキサス大学
オースティン校

シンガポール国立大学

イスラエルイノベーション庁
Start-Up Nation Central

あいちスタートアップ・エコシステム

「Aichi-Startup戦略」
(2023年3月末現在)



世界イノベーション
創出都市

柱2 地域産業の活性化

- 感染症や災害リスクを踏まえ、「地消地産」の視点が重要となる中、デジタル化や感染症の影響など、多様化する市場ニーズに適応した地域産業の活性化

商業、サービス産業、地場産業の振興

- サービス業に従事する県内中小企業等の成功事例の創出・情報発信等により、サービス産業の生産性向上を図る
- 地場産業（繊維・窯業・生活産業）の振興を図るため、展示会出展や商談会開催等により国内及び海外に向けた販路拡大を支援するとともに、産地企業へ専門家を派遣することにより、新商品開発や人材の確保につながる取り組みを実施

課題解決型産業の育成

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、カーボンニュートラルのエネルギーとして期待される**水素やアンモニアの利活用を促進**



あいちサービス大賞表彰式



中国向けテキスタイル輸出商談会



試飲販売会（地酒フェスティバル）

課題解決型産業の育成

- 2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、カーボンニュートラルのエネルギーとして期待される**水素やアンモニアの利活用を促進**

2022年度取組内容

- 水素ステーションの整備・運営や燃料電池産業車両（FCフォークリフト）導入に対する補助の実施
- 中小企業へのFCフォークリフト及び簡易水素充填装置導入に向けたモデル実証
- 「中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議」において、水素・アンモニアのサプライチェーン構築及び利活用に向けた取り組みを推進



水素ステーションの一例

中部圏水素・アンモニア 社会実装推進会議

設立：2022年2月21日

（「中部圏大規模水素サプライチェーン社会実装推進会議」として設立）

目的：カーボンニュートラルの実現に向け、地域一体となって中部圏の大規模な水素・アンモニアの社会実装を推進する。

構成：行政機関、経済団体、中部圏水素利用協議会(民間企業19社)、(株)JERA



FCフォークリフト普及モデル実証の様子

柱4 グローバルな産業拠点機能の向上

- 感染症の影響下にあっても県内企業のグローバル展開を支えるための海外パートナーシップの強化
- 東京一極集中の是正やサプライチェーンの再構築の動きを踏まえた立地環境の整備・研究開発機能の向上

国際ビジネスの拡大支援

- グローバル市場を獲得するため、県内企業の海外進出を支援
- 欧州最大級の総合的な産業展示会「グローバル・インダストリー」の日本版である「**SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE**」の開催支援

立地環境の整備・企業誘致の推進

- 企業立地のワンストップ窓口「**産業立地サポートステーション**」の設置や「**日本一**」の優遇制度で企業を力強くサポート
- 知の拠点あいち重点研究プロジェクトの推進、大学や企業等との共同研究の実施、あいちシンクロトロン光センターの利活用の促進



オーベルニュ・ローヌ・アルプ地域圏とのMOU
締結式（フランス・リヨン）



知の拠点あいち

国際ビジネスの拡大支援

- 「SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE」(SMS) の開催に向け、開催地としてのPR、地元産業界への出展働きかけや機運醸成等の支援を実施

2022年度取組内容

- 「グローバル・インダストリー2022(パリ)」の会場でSMSの開催を主催者とともに発表
- 「グローバル・インダストリー2023(リヨン)」に、県内企業とともに愛知県ブースを出展
- 主催者等と連携して、地元企業・団体等に対して出展働きかけを実施
- 全国的な業界新聞への記事広告等によるPR

SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE

日本とヨーロッパをつなぐ日本初のB to B製造業向けイベント

- 期間：2024年3月13日～15日
- 場所：Aichi Sky Expo
- 主催 GLイベント
- 規模（想定）出展企業数:約250社 来場者数:約15,000人

グローバル インダストリー

- フランスのマクロン大統領が経済金融大臣時代に提唱
- 2018年パリで第1回を開催以降パリとリヨンにおいて隔年で開催
- 主催 GLイベント
- 2022年開催実績（パリ）
出展企業数:約2,300社 来場者数:約28,000人



立地環境の整備・企業誘致の推進

- 企業立地のワンストップ窓口「**産業立地サポートステーション**」の設置や「産業空洞化対策減税基金」を活用した「**日本一**」の優遇制度で企業を力強くサポート

2022年度取組内容

- 「産業立地サポートステーション」をワンストップ窓口とした国内外の企業や市町村からの相談対応及び用地情報や各種優遇制度等の情報提供の実施
- 「産業空洞化対策減税基金」を活用した21世紀高度先端産業立地補助金、新あいち創造産業立地補助金による企業立地の促進
- 産業立地促進税制による不動産取得税の免除・減額

制度名	内容
21世紀高度先端産業立地補助金	高度先端分野の投資案件を支援 補助率:工場10% 研究所20% 限度額100億円
新あいち創造産業立地補助金	Aタイプ 市町村と連携して県内における再投資を支援 補助率10% 限度額10億円
	Bタイプ サプライチェーンの中核をなす分野等の投資を支援 補助率10% 限度額10億円
	Cタイプ 県内に新たに進出し、拠点（オフィス）を設置するソフト系IT企業を支援 オフィス賃借料等 1/2以内 IT技術者への雇用加算 50万円/人 限度額：初年度1,000万円、2・3年目350万円

基盤施策 中小・小規模企業の持続的発展

- 本県の産業経済と雇用、地域社会を支える中小・小規模企業については、感染症により深刻な影響を受けるとともに、デジタル化への対応など様々な課題を抱えていることから、社会の変化に柔軟に対応した経営革新を支援

経営基盤の強化や経営革新、事業承継の支援

- (公財) あいち産業振興機構、商工会・商工会議所を始めとした支援機関による幅広い経営支援を実施
- 中小・小規模企業の新分野進出・販路開拓を支援するとともに、県内事業者の事業承継を促進するための各種施策を展開

デジタル技術の導入の支援

- 県内中小企業・小規模企業の生産性向上や新たな価値創出が図られるよう、デジタル技術の導入を支援
- あいち産業DX推進コンソーシアムにおける情報発信や施策展開等、関係団体と連携して地域全体のデジタル化・DX支援を強化

中小・小規模企業の魅力発信

- 愛知県の製造業の実力を広く国内外にアピールし、世界的ブランドへと知名度の向上を図るため、県内の優れたモノづくり企業を「**愛知ブランド企業**」として認定

中小・小規模企業の魅力発信

- 愛知県の製造業の実力を広く国内外にアピールし、世界的ブランドへと知名度の向上を図るため、県内の優れたモノづくり企業を「**愛知ブランド企業**」として認定

2022年度取組内容

- 認定企業の認知度向上のため、専用Webサイト等による情報発信の実施
- 認定企業の販路拡大のため、展示会への出展支援を実施
- 人材確保の機会提供のため、大学等と連携した出前講座や採用活動支援の実施
- 認定企業のチャレンジ機会の創出や技術力の向上、新たな価値の発見を目的として、認定企業が行う先進的な取組を表彰する「愛知ブランドイノベーションアワード」を実施

愛知ブランド企業

オンリーワンやトップシェアなど世界に誇る独自の技術や製品を持つ愛知県内の優れたモノづくり企業400社（2022年3月現在）を「愛知ブランド企業」として認定。

<2022年度新規認定企業>

熱田起業(株)、光工業(株)、(株)アーティストリー、横山興業(株)、(株)扶桑守口食品、内田工業(株)、(株)藤田製作所



大学での出前講座

愛知の大型事業・プロジェクト

- 2023年度 ジブリパークⅡ期開園
SMART MANUFACTURING SUMMIT BY GLOBAL INDUSTRIE(3/13-15)
- 2024年度 STATION Aiオープン（10月）
- 2025年度 愛知万博20周年記念事業（3/25～9/25）
愛知県新体育館（愛知国際アリーナ）オープン（夏）
- 2026年度 第20回アジア競技大会(9/19-10/4)
第5回アジアパラ競技大会（10月）
- 2027年度～ リニア中央新幹線（東京－名古屋間）開業
中部国際空港第二滑走路供用

【お問合せ先】

愛知県 経済産業局産業部 産業政策課

<https://www.pref.aichi.jp/sangyo-seisaku/>

TEL 052-954-6330

E-mail sangyo-seisaku@pref.aichi.lg.jp